

志賀原子力発電所 2号機 第2回定期検査の開始について

平成21年7月3日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 2号機は、平成21年 7月10日から発電を停止し、平成21年10月下旬までの予定で第2回定期検査を実施します。

今回の定期検査では、原子炉本体、原子炉冷却系統設備、原子炉格納設備等の点検を実施する他、全燃料872体のうち約100体（予定）を新燃料に取り替える予定です。

なお、定期検査の概要は別紙のとおりです。

以 上

別紙：第2回定期検査の概要について

第2回定期検査の概要について

1. 定期検査の期間

平成21年7月10日	～	平成21年10月下旬
発電停止		平成21年7月10日
発電開始		平成21年10月上旬
総合負荷性能検査		平成21年10月下旬

定期検査の期間は、放射性ガスが漏えいした燃料の特定作業のため、当初計画より15日程度延長する。

2. 定期検査および定期事業者検査等を実施する主な設備

- (1) 原子炉本体
原子炉圧力容器、炉内構造物、燃料の点検を実施する。
- (2) 原子炉冷却系統設備
主蒸気系、給水系などの配管類、熱交換器、ポンプ、弁類の点検を実施する。
- (3) 計測制御系統設備
冷却材圧力、流量計測装置などの計測制御系統設備の点検、校正を実施する。
- (4) 燃料設備
燃料取扱装置の点検を実施する。
- (5) 放射線管理設備
モニタリング設備などの放射線管理計測装置の点検、校正を実施する。
- (6) 廃棄設備
廃棄物処理設備の点検を実施する。
- (7) 原子炉格納施設
原子炉建屋、原子炉格納容器の点検を実施する。
- (8) 非常用予備発電装置
非常用ディゼル発電設備などの点検を実施する。
- (9) 蒸気タビン
タビン本体の開放点検、主要弁類の分解点検、補機類の点検を実施する。
- (10) 電気設備
発電機、変圧器などの点検を実施する。

3. 燃料取替計画

原子炉内の全燃料（872体）のうち約100体を新燃料に取替える。

なお、取替用の新燃料として、今回から、これまで用いてきたものに加え、平均濃縮度約3.8%の燃料も採用する。

4. 定期検査中に実施する主な工事等

(1) シッピング検査¹（図-1参照）

運転中に燃料からの放射性ガスの漏えいが確認されたため、全燃料集合体に対して、漏えいした燃料集合体を特定するための検査を実施し、漏えいが特定された燃料集合体は、詳細に外観点検等を実施する。

また、当該燃料集合体は、新燃料と取り替える。

(2) 定検用入替予備品設置工事

原子炉冷却材再循環ポンプ及び制御棒駆動機構について予備品を新たに配備し、点検が必要な既設の機器を、これらの予備品と入れ替える。

(3) 制御棒駆動機構カップリング試験²インターロック改造工事

経済産業省原子力安全・保安院文書「東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所6号機における制御棒駆動機構と制御棒の結合不良を受けた対応について（平成20年9月12日）」に基づき、定期検査時における制御棒駆動機構と制御棒の結合作業の確実性を向上させるため、結合確認試験時に制御棒分離検出信号が発生した状態では制御棒引き抜き操作ができないよう、インターロックを設ける。

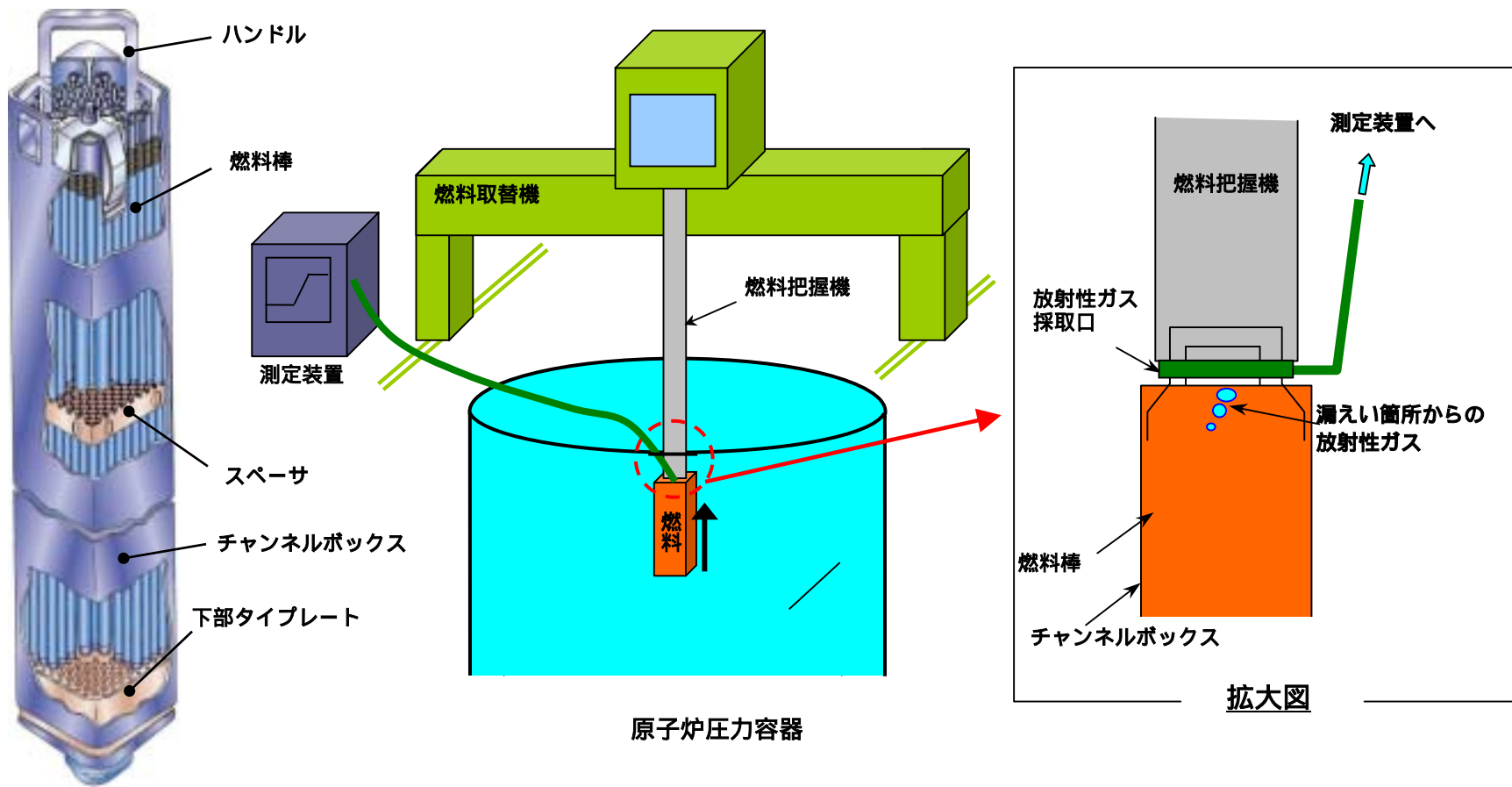
以上

1：シッピング検査

燃料集合体を炉内の装荷位置から上昇させ、炉水を採取して放射性ガスの量を調べ、放射性ガスが漏えいした燃料集合体を特定する検査

2：制御棒駆動機構カップリング試験

制御棒駆動機構と制御棒の結合作業が確実に行われたかを確認する結合確認試験



燃料集合体の鳥瞰図

図 - 1 シッピング検査 概要図